

(様式3)

事業所名 八幡グループホームみのり

ユニット名 花棟・山棟

作成日: 令和 4年 12月 2日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13 31	・日常のことは職員だけで対処できるが、利用者の急変時など、管理者がいないと不安になってしまう。	・1人ひとりの基礎看護・予防看護・薬の知識を深める。 ・OJT、担当職員のスキルアップ。	・現利用者を通じ、基礎疾患の研修を行う。 ・処方されている薬の意図を明確に現場におろし、本人の疾患や今後について共有する。 ・拘縮や筋固縮・円背の利用者もいる中で、悪化しないよう初期の段階から、予防的ポジショニングを行う。ポジショニングに関しては、現利用者を通じて、一人一人が理解できるまで説明し、職員が自身で判断できるようになる。 ・定期的な管理者との面談を通じ、職員の不安を聞きながら、キャリアパスに応じたレベルまで職員が成長できるよう、助言を行う。	12ヶ月
2	49	・現状、利用者様と共に食事作りや季節を感じられることへの取り組みはできており、一人ひとりが生きがいややりがいを持った暮らしはできている。 ただ ①ドライブや遠足などの機会をあまり設ける余裕がなく、散歩以外の外出の機会が月数回となっており、利用者の生活にいつもと違う楽しみや高揚感を感じてもらえることが少なくなっている。 ②コロナ禍の中で家族との外出や面会の機会が減っており、家族とのつながりを感じられる機会が減っている。本人・家族共にストレスを与えてしまっていると思われる。	・現在の一人一人の役割や生きがいを持った生活を継続しながら、一人一人の暮らしがより満足できるものになるよう、外出の機会を増やし、コロナ禍の中でも家族と共に楽しめることを取り入れる。	・週に1～2回、昼食時に外注のお弁当の日を設け、外出や本格おやつ作りなど、感染予防を行いながらイベントの機会を増やし、より楽しみを感じられる生活が送れるようにしていく。 ・屋外での外出時には家族にも声を掛け、屋外というできるだけ感染リスクの少ない環境の中で、家族との関わりを増やし、家族・ご本人共により満足のいくつながりが持てるようにしていく。	12ヶ月